

(様式第2号)

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	11	課題区分	C	令和8年(2026年)4月22日	
横断的な課題	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備					南信州地域振興局	
地域重点政策	高速交通網開通の効果を地域づくりに最大限に活かす基盤整備						
実施機関	南信州地域振興局			担当課	所属	商工観光課	
事業名	東海・中京圏における「南信州」観光プロモーション				電話	8-237-2262	
				E-mail	minamichi-shokan@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要	目的 (目指す姿)	リニア中央新幹線の開業及び三遠南信自動車道の開通を見据え、南信州地域ならではの強みや特性を活かした観光資源を幅広くPRするとともに、観光誘客に向けて地域一体となった観光振興を推進する。					
	現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度の長野県観光機構による来訪者満足度等アンケート調査によると、観光目的で南信州地域を訪れる国内旅行者のうち、東海地方からの旅行者の割合は59%と半数以上を占めており、当地域における東海・中京方面に向けた観光PRは特に重要である。 その一方で、令和5年度、名古屋市栄で開催された第69回名古屋まつりにおいて行った南信州認知度アンケート調査では、「南信州に一度も行ったことがない」と回答した者の割合が7割以上を占めており、南信州全体の認知度向上が喫緊の課題となっている。 リニア、三遠南信自動車道での来訪者はもとより、今後、観光客やつながり人口、移住者、企業誘致を増やすためには、南信州地域の認知度向上を図り、多くの人にこの地域に関心をもってもらう必要があることから、引き続き東海・中京圏をターゲットとした「南信州地域」の認知度向上と誘客促進を図る。 					
概要	内容 (変更後の内容)	<p>【静岡県浜松市での観光プロモーション事業】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和5年度及び令和6年度は、愛知県での認知度向上のための観光PRを実施した(R5:名古屋まつり、R6南信州キャンペーン)。今年度は、三遠南信自動車道の開通を見据え、静岡県遠州地域からの誘客を促すため、上伊那地域振興局と連携し、伊那谷全体の広域的な観光PRを実施する。 浜松市の中心部、JR浜松駅に隣接した全天候型イベントスペース「はままちプラス」において、観光パンフレットの配布やポスターの掲示を行うほか、今後の観光施策の基礎資料とするためのアンケート調査を実施し、回答者には上伊那・南信州両地域の特産品が当たる抽選会を実施し、地元特産品のPRを行う。 <p>時期：令和7年7月26日(土)、27日(日) 午前10時から午後3時まで 場所：はままちプラス(静岡県浜松市中区砂山町320-2) 内容：(1) 観光パンフレットの配布、長野県PRキャラクター「アルクマ」による観光PR (2) アンケート及び抽選会の実施 (3) 観光PRポスターの掲示</p>					
		事業期間	令和7年5月		～	令和7年8月	
事業費等	(単位:円)						
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画額	備考			
	【静岡県浜松市での観光プロモーション事業】	(1) 観光パンフレットの配布、長野県PRキャラクター「アルクマ」による観光PR (2) アンケート及び抽選会の実施 (3) 観光PRポスターの掲示	313,799	<ul style="list-style-type: none"> 職員旅費 46,200円 ガソリン代 7,709円 パンフレット増刷代 148,500円 アンケート景品代 99,200円 チラシ印刷費 8,640円 ECT使用料 3,550円 			
合計		313,799					
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況		
	イベント来場者数(アンケート回答者による)		500人	612人	達成		
事業実績・成果	<ul style="list-style-type: none"> ガチャガチャを用いた抽選会や缶バッジの配布、アルクマ出演によるPRにより、親子連れや若年層の来場に繋げることができ、目標値を上回り、延べ612人の方に来場いただいた。 来場者からは「長野はよく行く」「松本や軽井沢には行ったことがあるが、上伊那・南信州は素通りだった。これを機に訪れてみたい」等の声が聞かれた。 イベント名を「上伊那・南信州”涼”まつり」と冠して、宮田村産のぶどうジュースや天龍村産の緑茶の試飲提供を行ったところ好評で、二日目の途中で在庫終了となった。 観光ポスターの掲示に加えて、知事指定伝統的工芸品である飯田水引と阿島傘の実物の展示を実施した。実際に傘を手にとったり、展示の前で写真を撮影する来場者もいた。 						
今後の方向性	令和9年度夏に開催される信州デスティネーションキャンペーンと併せて、引き続き、上伊那・木曾地域振興局やJR東海と連携して、東海・中京圏からの誘客促進の取組を推進していく。						